



やわらぎの鐘

青 梅 市 立 第 一 中 学 校
学 校 だ よ り 9 月 号
令 和 8 年 9 月 1 5 日

創立80周年目に

校長 梅田 尚之

これまであまり広報活動をしてきておりませんでした。本校をはじめ、市内中学校のうちの第一中学校や第二中学校といったナンバーズクールは、今年で創立80周年目を迎えております。本校でも、来年度には「創立80周年記念事業」を計画しております。今後、実行委員会を立ち上げ、本格的に計画を立ててまいります。

さて、私が校長に着任してからこれまでも、いくつか変更させていただいたことがございましたが、その中でも大きな区切りを迎えたものがございますので、御紹介いたします。

《最後の金波楼での修学旅行》

ちょうど1年前の学校だよりでもお知らせいたしましたが、本校では60年以上の長きにわたって、京都・奈良方面への修学旅行では京都市内の「金波楼」という宿舎を利用してまいりました。

しかし、生徒数の減少に伴う変化や価格の高騰、インバウンド利用者の激増による混雑などの影響があり、変更を検討しました。保護者アンケートや学校運営協議会での検討などを経て、「修学旅行での宿舎は『金波楼』にはこだわらない」という結論に達し、令和9年度の修学旅行から宿舎が変更になります。

この9月17日(木)から19日(土)までの2泊3日で行われる修学旅行で「金波楼」に宿泊することが一つの区切りとなります。3年生の皆さんと共にこれまでの長きにわたる青梅一中と金波楼さんとの関わりに感謝しつつ、充実した修学旅行にしていきたいと考えています。

《制服の見直し》

昨年度あたりから、生徒の「制服を見直してほしい。」という声が私の元に届き始め、今年度に入ってから、生徒や保護者対象のアンケートを実施しました。その結果、制服の見直しについて「どちらでもよい」という回答を除くと、「変更を希望する」が「変更を希望しない」を大きく上回りました。

そこで、教員代表、保護者代表、地域代表で構成する制服検討委員会を立ち上げ、見直しについて検討を始めました。その中で、制服業者への聞き取りから、令和9年度新入生の制服生地生産は既に始まっており、大幅な変更が可能なのは、令和10年度新入生からであることが分かりました。これを受け、検討委員会では、制服の見直しは現在の1・2年生と令和9年度新入生が該当する「第一期」と令和10年度以降の新入生が関わる「第二期」とに分けて実施することといたしました。

先日の検討委員会では、「第一期」の変更内容は、「冬服については現行のままとし、男子の夏服ズボンも現行のまま、女子の夏服スカートはジャンパースカートをスカートに変更する。また、男女共に学校指定のポロシャツも可とする。」(制服業者からは、「有料になりますが、現1・2年生のジャンパースカートをスカートにお直しすることもできます。」と言われています。)ということが決定いたしました。

なお、在校生の皆さんには、正式な通知を今後発出してまいります。

「第二期」の見直しについては、今後検討を進め、小学校5年生、4年生の児童の皆さんやその保護者の皆さん対象に御意見を伺いながら、検討を重ねていきたいと考えています。



〔一中生の活躍〕

【部活動】この夏にかけ、大会等で表彰された生徒・部活動を紹介します。（このほかも、次号で掲載）

所属	大会等名称	部門等	成績
野球部	令和8年度第8ブロック中学校夏季研修大会		第一、第二、第三、新町 合同チーム 優勝
陸上部	第71回西多摩郡陸上競技選手権大会	男子中学1年1500m	5分17秒59 第2位
卓球部	第4回レーティング大会 各ブロックにおいて、優秀な成績を収めております。		
	第65回東京都中学校第8ブロック卓球選手権大会	男子シングルス 1年の部	第2位 第3位 第5位
	第12回 多摩スポーツ杯	Aリーグ男子団体 Aリーグ女子団体 Bリーグ男子団体	第3位 第6位 準優勝
吹奏楽部	第66回東京都中学校吹奏楽コンクール	B組	銀賞
バスケット ボール部	令和8年度青梅市中学校バスケットボール市内大会	女子の部 男子の部	準優勝 第3位
ワトテニス部	第8ブロック中学校ワトテニス夏季研修大会	ダブルス	第5位



【給食配膳員さんの着任】

9月1日から新たに小林 日香里さんが着任されました。一中の給食配膳員さんは3名となっています。よろしくお願いいたします。

【新規生徒会 始動します】

9月11日（金）生徒会役員選挙が行われました。今回の選挙では、総勢8名の立候補者があり、立候補した役職により、信任投票又は決選投票を経て、以下の5名が新生徒会役員に当選しました。

2学期当初から始まった本選挙ですが、短い時間ながらも、立候補者はとてもよく頑張っていました。「よりよい学校をつくる」ために、様々な改善案を考え、自分の言葉でしっかりと伝えることができていました。頼もしく、誇らしい姿であったと感じます。

また、選挙を無事に終えることができたのは、選挙管理委員会の生徒たちのしっかりとした準備や適正な運営、そして推薦生徒の支えがあってこそその結果だと感じます。公正・公平な投票に努めた生徒を含め、全校が一つになって実施できた素晴らしい選挙でした。

今後は新規役員の5人が中心となった、新たな生徒主体の学校づくりがスタートします。

保護者・地域の皆様におかれましても、応援どうぞよろしくお願いいたします。

会長	2年生	1名
副会長	2年生	1名
	1年生	1名
庶務	2年生	1名
	1年生	1名

生徒対象のアンケート調査（7月実施）の結果を御紹介します

※ 数字は「%」を示します。G組については、学年別集計には含まず、全体集計に含んでいます。

※ 全て、4段階での回答となっています。内容は、次の1～4の数字で表記します。

①=当てはまる ②=やや当てはまる ③=やや当てはまらない ④=当てはまらない

また、⑤は「わからない」と回答した生徒の割合です。

※ 小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない項目もあります。



(1) 全ての学習の基盤となる資質・能力の育成 〈言語能力の育成〉

本校では、「言語能力の育成」に向け、例えば言語能力の基盤を築く「朝読書の活動」や「朝礼等の聞き取りメモ」、自分の思いや考えを自分の言葉で伝える「ノー原稿発表」などに取り組んでいます。

◆ 「朝読書の時間は、すすんで読書に取り組んでいる。」

	①	②	③	④	⑤
1年	59	29	3	10	0
2年	64	20	8	2	6
3年	59	30	3	6	2
全体	57	28	5	6	4

約9割の生徒が肯定的な回答でした。①、②の回答は、共に昨年度と同程度の数値となりました。

図書委員会を中心とした読書に親しむ活動の成果でもあります。今後も、全ての生徒が朝読書にすすんで取り組めるよう、活動の充実を図っていきます。

◆ 「総合的な学習の時間等の発表では、原稿に頼らずに話すよう心掛けている。」

	①	②	③	④	⑤
1年	19	54	16	4	8
2年	19	36	30	13	3
3年	29	44	22	5	0
全体	21	43	24	7	6

①、②の数値を2、3年生（昨年度の1、2年生）で経年比較すると、わずかながら上昇しており、取組の成果が少しずつ表れていることが分かります。

生徒会活動や行事等だけでなく、日々の授業等においても原稿に頼らない、自己表現の機会を設け、その力を高めています。

(2) 主体的・対話的で深い学びの追究 〈公開授業等による授業改善〉

全教員が「主体的に学習に取り組む」「対話から自らの考えを広げる」「考えを再構築して学びを深める」に向けた工夫を念頭に授業力の向上に努めています。

◆ 「授業で、自分の考えを深めたり、広げたりしている。」

	①	②	③	④	⑤
1年	39	39	11	5	6
2年	25	45	16	3	11
3年	32	49	13	5	2
全体	31	43	14	5	8

全体的に①の数値が、昨年度から7%上昇しています。各教員が、対話的な学びを意識的に取り入れていることが要因の一つと考えられます。

今後も生徒が互いに学び合う中で、それぞれの力を高め合える授業づくりを目指していきます。

◆ 「家庭学習（宿題）に意欲的に取り組んでいる。」

	①	②	③	④	⑤
1年	30	36	19	13	3
2年	19	34	23	17	6
3年	29	44	16	10	2
全体	24	36	19	15	5

①、②の全体の合計値は、昨年度から8%上昇しましたが、③、④の結果から、およそ1/3の生徒が家庭学習に意欲的に取り組めていないことが分かります。

基礎学力の定着には、家庭での反復学習等が大切ですので、宿題の出し方を工夫していきます。家庭でもお声掛け等の協力をお願いします。

(3) いじめ問題への対応(学校集団として)〈未然防止に向けた取組〉

令和8年度は、特にいじめ問題への取組みを強化しています。4月に「いじめ撲滅宣言」を掲げ、いじめ問題について、生徒自らも主体的に考え、未然防止・早期解決に努められるよう、学校全体でその意識を高めています。

◆ 「学校へ行くのが楽しい。」

	①	②	③	④	⑤
1年	58	29	5	5	4
2年	42	34	11	8	5
3年	44	46	3	5	2
全体	47	33	8	7	4

80%の生徒が肯定的な回答をしていますが、20%、クラスの人数に換算するとおよそ6～8人の生徒は、そうではないと回答をしています。

この数値は、決して大きい、小さいで一喜一憂するものではないと考えます。「1」以上の回答がある時点で、担任だけでなく、学年、学校全体で、「0」を目指すべきであると考え、取組を充実させていきます。

◆ 「自分のクラスは安心できるクラスだと思う。」

	①	②	③	④	⑤
1年	70	21	1	3	5
2年	45	22	13	14	6
3年	56	30	10	0	5
全体	54	24	9	5	7

上記の項目同様に、多くの生徒が肯定的な回答をしていますが、やはり、そうではないという生徒が「0」となるよう、取り組むべき項目です。

学校生活の基盤とも言えるクラスが、全ての生徒にとって「安心」な場所となるよう、こちらも改善を図っていきます。

◆ 「悩み事や困り事を相談できる先生はいますか？」

学年	3人以上	2人	1人	全くいない
1年	58	21	19	3
2年	44	16	20	20
3年	49	17	17	16
全体	49	19	18	14

振る舞いを輝かせて
いじめ0へ!

児童・生徒が主体となって
安心して過ごせる学校づくり

青海市立第一中学校区共通スローガン(第一小学校 第四小学校 第一中学校)

第一中学校区の
いじめゼロ宣言スローガン

「SOSの出し方に関する教育」で視聴する動画にて、「悩んでいるときは、できるだけ3人以上の大人に相談をしましょう。」とあることを踏まえ、回答は3人から0人までの範囲としています。

昨年度に比べ、「3人以上」とした生徒の割合が3%上昇しており、一昨年度から昨年度間の9%の上昇と合わせると、少しずつその数が増えていると言えます。

しかし、「全くいない」は2%減少していることから、改善傾向ということは難しいと考えます。人数に換算すると、全校でおよそ30人の生徒が「相談できる教員がいない」と回答していることになります。

本校では、令和8年度も「いつでも誰にでも相談週間」の取組を行っていますが、このアンケートの後となる2学期に実施した同週間では、「どうやって相談したらよいのか分からない生徒がいるのかもしれない。」と考え、全生徒に、教員の寸劇を交えて同週間の意義を伝えました。

同週間などの取組が、形骸化せず、学校のよい雰囲気をつくり上げる大きなきっかけとして定着するよう、引き続き様々な手だてを講じながら、生徒にその意義を伝えていきます。

(4) 自己肯定感(自分を大切に思う心)・自己有用感(自分が役に立っていると思う心)を高める取組

本校では、生徒を認め、ほめることによって、個々の生徒の自信を高め、内面の成長を促すことに重点を置いています。

◆ 「自分のことを大切な存在だと感じている。」

	①	②	③	④	⑤
1年	45	30	9	1	15
2年	39	30	11	5	16
3年	40	24	13	5	19
全体	39	26	12	5	18

昨年度と比べ、①と②の数値が逆転し、自分を大切に感じる気持ちが強い生徒が増加したと言えます。しかし、③の数値が5%上昇していることから、学習や日常生活、そして委員会、部活動等の中で、生徒の自己肯定感・有用感を高める取組を充実させていきます。

◆ 「自分は学校の中で、認められたり、ほめられたりしている。」

	①	②	③	④	⑤
1年	36	43	4	0	18
2年	34	42	9	3	11
3年	35	40	5	6	14
全体	33	40	6	4	16

昨年度に比べ⑤の数値が9%減少し、その分、①の数値が8%上昇しました。教員による言葉掛けの工夫や、生徒の成長を見逃さないという意識の高まりも、影響の一つであると考えます。

引き続き、全ての生徒に、自身の成長を実感できるような言葉掛けを、工夫して行っています。

(5) 社会において自律的に生きる力の育成

一昨年度より、スローガン「振る舞い 輝く！一中生 ～3ない運動×SDGs(青一ver.)」

＝もったいない・みっともない・申し訳ないの3ない運動と一中版SDGsへの取組を学校運営の中心に据えています。特に、その推進の原動力になっているのが生徒会活動・ボランティア活動です。生徒会を軸に素晴らしい活動を展開しています。

◆ 「普段から『3ない運動』など『振る舞い』が輝くことを意識した生活を心掛けている。」

	①	②	③	④	⑤
1年	34	45	6	4	11
2年	28	47	8	2	16
3年	30	49	11	2	8
全体	29	46	9	3	13

①の数値を2、3年生(昨年度の1、2年生)で経年比較すると、両学年共に8%数値が上昇し、③・④の合計値が減少しました。意識の高まりを感じます。

しかし、全体の⑤の数値が5%上昇していることから、取組について全生徒が意識できるよう、様々な場面で生徒の振る舞い等を確認していきます。

◆ 「SDGs(青一ver.)を意識した学校生活を心掛けている。」

	①	②	③	④	⑤
1年	33	38	13	4	14
2年	23	41	13	3	20
3年	33	44	13	3	6
全体	28	39	12	6	15

上記の項目同様に、昨年度に比べて全体の⑤の数値が5%上昇しています。SDGsという言葉は、学校内だけでなく、今や世界の大きな課題でもあり、どこでも聞く言葉になっています。

生徒が、家庭や地域でその知識を活用し、生活を改善できるよう、学校の取組をまずは定着させていきます。

◆ 「清掃や給食当番などの係活動に積極的に取り組んでいる。」

	①	②	③	④	⑤
1年	51	39	8	3	0
2年	42	41	13	2	3
3年	52	38	6	0	3
全体	49	38	10	2	3

本校の伝統として、ここ近年でも肯定的な回答の数値が高くなっていますが、昨年度に比べ、③④の合計値が8%上昇しています。

ほぼ毎日関わりのある活動だけに、その数値や生徒の様子の変化を注視しながら、生徒一人一人に響く、活動の大切さが分かる言葉掛けをしています。

◆ 「学校行事に積極的に取り組んでいる。」

	①	②	③	④	⑤
1年	51	38	6	3	3
2年	59	31	5	3	2
3年	78	19	2	0	2
全体	59	30	5	3	3

全体として約9割の生徒が肯定的な回答をし、例年同様、特に3年生の①の回答が、顕著に高くなっています。3年生は、「中学校生活最後」という共通の潜在意識があることだけでなく、学校のリーダーとしての自覚や自身の成長への実感が、数値に表れていると感じます。

◆ 「ボランティア活動に積極的に取り組んでいる。」

	①	②	③	④	⑤
1年	9	26	26	35	4
2年	8	25	31	31	5
3年	19	19	21	30	11
全体	11	23	26	33	7

全体的には、昨年度に比べて大きく変化した数値はありません。しかし、学校主催の各ボランティア活動への参加人数としては、減少傾向にあります。

自身の学び舎となる学校や、学校周辺の地域について、自らの力（ボランティア）でよりよくしていこうという気持ちを高められるよう言葉掛けを行うとともに、実際に行動に移すきっかけづくりを行っていきます。

◆ 「自ら進んで挨拶をしている。」

	①	②	③	④	⑤
1年	58	36	4	1	1
2年	38	44	11	0	8
3年	41	41	11	3	3
全体	43	39	9	4	5

全体的には、昨年度に比べて大きく変化した数値はありません。しかし、4月に比べ、「生徒たちからの挨拶が減っている。」、又は「挨拶に元気がなくなっている。」と感じます。その現状を受け、2学期からは生活指導の重点に「挨拶」を加えました。家庭や地域でも、ぜひ生徒たちとの気持ちのよい挨拶を交わしていただければと思います。

◆ 「宿題や提出物は期限までに提出するように心掛けている。」

	①	②	③	④	⑤
1年	71	23	5	0	1
2年	50	33	9	3	5
3年	65	29	5	0	2
全体	59	26	7	3	4

近年、全体的な数値に大きな変化はなく、肯定的な回答が多くなっています。しかし、これから社会に出る上では、「期限を守れない」ことは、生徒にとって大きな不利益につながります。

引き続き、丁寧に言葉掛けや確認を行い、肯定的な回答が100%となることを目指していきます。

◆ 「進路開拓のために自ら必要な情報を集めている。」

	①	②	③	④	⑤
1年	19	33	15	15	19
2年	25	31	22	13	9
3年	44	32	17	3	3
全体	26	33	18	11	12

ほとんどの学校において、学年が上がるにつれ、肯定的な回答が上昇する項目です。一中でも例年、同様の結果になっています。しかし、その気持ちを醸成するには、進路指導が欠かせません。引き続き、生徒全員が将来への希望を胸に本校を卒業できるよう、第1学年からの進路に関する学習（キャリア教育）の充実を図っていきます。

(6) その他、アンケート結果から

〔身だしなみや、不要物を持ってこないなど学校のきまりを守ろうとしている。〕「当てはまる」「やや当てはまる」が全学年で90%以上となりました。「振る舞い輝く一中生」としての決まりを守ろうとする姿勢が表れた結果と言えます。また、自分専用の携帯電話又はスマートフォンの所持率が、100%という結果でした。情報モラル等の指導について、より一層の充実が必要です。御家庭でも御協力をどうぞよろしくお願いいたします。